

会 務 月 報

第462号

発行 一般社団法人 日本建築士事務所協会連合会

■第6回 総務・財務委員会（Web会議）議事概要

日 時 令和3年8月18日（水）10:00～11:30

場 所 日事連会議室

出席者 委員長 舟幡 健

委 員 水梨公雄、坂本忠志、金丸智昭、樋上雅博、
豊田隆雄、西 洋一

担当副会長 白井 勇

会 長 児玉耕二（特別出席）

事務局 居谷、前田、伊東、松谷、中村

議 事

（1）単位会組織強化支援事業について

舟幡委員長より、本委員会で検討後、9月の常任理事会へ提案し了承されれば、速やかに単位会へ本事業の実施について通知したいとの発言がなされ、続いて資料1-1及び資料1-2によって、単位会組織強化支援事業の支援項目、支援額（総限度額2,000万円）及び支援項目別に想定される事例並びに単位会組織強化支援事業実施要領（案）の内容となる事業の対象項目、対象期間、支援金額及び対象費目等、申請・決定・実施報告等の方法及び時期等について概要説明がなされた。

委員等より次の発言がなされた。

・事務所協会のPRとして地元紙に広告を掲載してきたが、それも支援事業の対象となるか。また、HPの作成業務はどうか。

→その事業が支援の対象となるかどうかの判断は、単位会からの申請後の審査による。

→継続事業の場合は、新たな改善点が見られることが求め

られる。

→どの単位会もすでにHPを持っており、単にコンテンツ追加及びリニューアル程度では支援事業の対象にはならない。

・この支援事業は今年度のみの事業か。コロナ禍で今年度は継続事業の実施も困難であり、長い目で見てほしい。参考事例に記載していることはすでに事業として行っており、新規事業を検討するのも難しく、むしろ参考情報が欲しいくらいである。

・支援事業は、2,000万円を5年、総額1億円という認識でよいのか。また、今年度はすでに事業を開始していることもあり、支援事業のスタートが遅い分、対象となる事業が限定されてしまう。すでに開始しているものも申請対象になるのか。この要領（案）では判りづらい。

→要領（案）の「3.対象期間」で読み取れるのではないのか。

→既存事業も拡大もしくは新規要素を強調した内容で申請をしてもらえば良いのではないのか。

・参考事例をもう少し詳しく提示してほしい。

→もっと事例案があった方が良いかと思ったが、例えば会員証を制作するのみで支援が受けられるような誤解を招かないように、大枠で示した。参考事例については、常任理事会へ提案する前にもう少し充実させる必要があると思う。

・継続事業であってもリニューアルしての実施なら良いと理解して問題はないか。

・日事連はこれまでの各単位会の実施事業をどれくらい把握しているのか。応募された事業が過去になされたものか確認可能なのか。

→昨年、単位会の財務に関するアンケートを実施した際に主な収益事業を回答してもらっており、リアルタイムではないが、ある程度は把握している。

・継続事業については一歩進んだ事業の提案、全国展開に繋がる等の新味を求めたい。単位会より提出された内容を

精査し、申請した内容が必ず承認されるとは限らないことを分かるようにしたい。

- ・1単位会あたり複数の申請は可能か。上限はあるのか。また、例えば災害研修判定等ブロック単位での共同事業はどうか。

→単位会単独での災害研修判定は可能であるが、ブロック単位では受け皿が異なる。ブロック助成金を活用してほしい。

- ・単年度で事業が終了せず年度を跨いだ場合はどうなるのか。

→年度ごとに決算報告が必要である。

- ・来年5月に支援金が承認されて、単位会へは6月頃に振込みされるのか。

→常任理事会での審議を経て決定後、早い時期に振込を行う予定であるが、支払いには6月に限定するものではない。

- ・同じような提案で複数の単位会から提出があった場合、採択は単位会の収支状況に左右されるのか。

→そのようなことはない。

- ・今年度は事業の初年度であり、イレギュラーな形にならざるを得ないこともあると思う。

- ・多少の修正は必要とは思いますが、この方向で進めるということではよろしいか。

- ・初めての事業であり、チャレンジング、試行錯誤的なところもあり、柔軟に対応していく必要がある。単位会の提案に対するサジェスション、アドバイスも必要になるかと思う。

協議の結果、単位会組織強化支援事業については、今回の議論や意見等を踏まえ、委員長が事務局と相談しながら進め、常任理事会へ提案することとした。

(2) 単位会の建築士事務所登録業務に係わる手数料の見直しについて

舟幡委員長より、次の報告がなされた。

前回の委員会で、関東甲信越ブロック協議会（関ブロ）所属単位会の建築士事務所登録業務に関するアンケートを実施し

た旨報告したが、その集計結果は資料2のとおりである。他のブロック協議会から「建築士事務所登録手数料等の見直しについて、日事連から国へ働きかけるよう」要望が出されたが、国交省や県等に要望するには、十分なデータや根拠が不可欠である。そもそも都道府県の手数料条例によるものであり、国からの働きかけが可能かどうかという問題もあるが、まずは単位会へ調査を依頼したいと考えている。

委員等より次の発言がなされた。

- ・手数料は県の条例で規定されており、国が介入できない。
- ・変更届に係わる手数料は変更手数料としては登録者から徴収していないため、県からの委託料に含まれていることになっている。変更申請手数料の要望なら考えられるかもしれない。

- ・変更に係わる業務のうち、国が定めている変更届の部分以外にも県独自で定めている部分があり、その状況も調査が必要である。

- ・関ブロ及び近畿ブロック協議会がブロック内でアンケートを実施したように、他のブロック協議会でも調査をしてはどうか。その結果により、どう要望していくかということになる。

→単位会向けの調査項目は統一的であることが望ましい。

関ブロが実施した内容で全単位会に調査してはどうか。

- ・全体で統一的に行うのがよいと思う。関ブロの調査書式はわかりやすい。

- ・5月の総会時期に大量の変更手続業務が発生しており、その負担は大きい。ただ受け付けるだけではなく、変更前の登録状況と照合を行う等、業務に時間がかかっている。

- ・変更申請手数料はいただきたい。全国まとまって日事連で働きかけをしてほしい。

- ・できるだけ早い時期にお願いしたい。

- ・国へ要望を出すには、各単位会の実態を十分に把握してから対応したい。

- ・交渉材料として、データは必要である。

- ・簡単な交渉ではないが、県ごとの交渉としても、全体のデ

ータは有効である。

協議の結果、全単位会を対象にした建築士事務所登録業務に関するアンケートの実施に向けて、設問内容等を精査し、次の委員会において協議等を行うこととした。

(3) その他

熊本大会の開催については、新型コロナウイルスの感染状況等をしっかりと把握した上で、8月末を目途に一定の方針を出したい旨、児玉会長より報告がなされた。

次回開催予定

第7回 令和3年 9月24日(金) 10:00～12:00

第8回 令和3年11月16日(火) 13:30～16:30

(配布資料)

第5回総務・財務委員会(We b会議)議事概要

資料1-1: 令和3年度 単位会組織強化支援事業について

資料1-2: 令和3年度 単位会組織強化支援事業 実施要領(案)について

資料2: 建築士事務所登録アンケートについて

■第6回 会誌編集専門委員会(We b会議)議事概要

日時 令和3年8月5日(金) 14:00～15:45

場所 日事連会議室

出席者 委員長 小泉厚

副委員長 宇塚幸生

委員 田端友康、鈴鹿美穂、佐藤光良、荻窪伸彦、
齊藤滋史、福山雅也

担当理事 南孝雄

オブザーバー 榎ジェイクリエイト 城市奈那、井手真梨子

事務局 居谷、前田、三浦、鈴木

<配布資料>

資料1: 令和3年9月号台割

資料2: 令和3年10月号台割

資料3-1: 令和3年11月号台割

資料3-2: スポーツとまちづくり(ジェイクリエイト)

資料3-3: 五輪選手村というレガシー

(スポーツと建築: 宇塚副委員長)

資料4: 特集企画の提案書

(小泉委員長、福山委員、ジェイクリエイト)

参 考: 令和3年度 年間台割表

追加資料: 9月号表紙の候補写真と説明文

議 事

1. 直近の会誌(7・8月号)の掲載内容についての意見交換

会誌の掲載内容について、各委員より感想等が述べられた。

主な内容は次のとおり。

- ・熊本県の街ガイドはとても良く書かれており、一度行ってみたいと感じさせる内容であった。
- ・7月号の表紙は空の色が白くなっていたので、もう少し色を出せればよかった。
- ・7月号の重伝建の特集は、日本地図もありわかりやすく良かった。
- ・日事連建築賞作品紹介は、設計者の思いが伝わってきてよかった。
- ・6月号の出だしが熊本大会の案内になっているので、7月号の街ガイド・フォーラムの最初に熊本大会の案内2とかにして熊本の案内をしていることが最初にわかるようにした方がよかったと思われる。8月号も同じ。
- ・8月号の青年部会の活動等については、継続的に載せることを提案したい。また面白い活動をしていることもあれば紹介していったらどうか。
- ・徳島会の座談会のようなものをこれからも載せていくことを提案したい。
- ・静岡会は会誌をWe b版にしたが、画像の字が小さく見にくい部分もあるので今後改善してもらいたい。
- ・秋野弁護士の法律知識は毎号とても参考になる。
- ・編集後記は両号ともよかった。

2. 令和3年9月号の編集状況報告

ジェイクリエイト及び事務局より、7月号の掲載内容について資料1に基づき説明がなされた。

- ・特集は「コンバージョンの魅力」とし、建築コンバージョン

による文化施設の誕生—フランス都市の3事例、新風館（京都中央電話局から複合施設）等を掲載する。

- ・建築士の休日は、三重会会員に依頼し執筆していただいている。
- ・訪ねてみたい街ガイドは、熊本県の天草編で4物件を掲載する。熊本県の街ガイドは全国大会に因んで4回に亘り掲載してきたが、最終回となる。
- ・9月号より賠償責任保険ノートに改称し2事例を掲載する
- ・ジェイクリエイト社より表紙の写真4枚が提出され検討したが、コンバージョンをしているわかりやすい新風館等の写真を同社より再度提出してもらい選定することとした。
- ・荻窪委員より、安藤忠雄氏の歴史的建造物・美術館がバリエーション開館されたので情報として少しでも掲載してはどうかとの提案があった。

3. 令和3年10月号以降の特集企画等の確認、検討

ジェイクリエイト及び事務局から台割の説明がなされ、確認した。（資料2、資料3-1～3）

○10月号

◇特集は例年掲載している「令和3年度日事連建築賞」受賞作品を取り上げる。

単位会主催の建築賞について、実施している単位会の記事を掲載する予定。

◇建築士の休日は、岡山会会員の記事を掲載する。

◇美術館・博物館巡りは、荻窪委員執筆で京都市京セラ美術館を掲載する。

○11月号

◇特集は「スポーツと建築（又はまちづくり）」。

企画として、横浜DeNAベイスターズ「コミュニティボールパーク化構想」（横浜市）、岩手県紫波町の官民連携によるまちづくり会社「オガール紫波」での誘致、広島県尾道市・愛媛県今治市のしまなみ海道のまちづくりおよび五輪施設の終了後の活用方法（今後の遺産〈レガシー〉）について取り上げる。

4. 特集企画の提案

○SDGsの設計手法（小泉委員長）、「日本のタワーの歴史」昭和が生んだ偉大な建造物（福山委員）およびインテリアデザイナーとの協働（ジェイクリエイト）について、各提案者より説明がなされた。

・タワーについては、2011年に1年くらいかけて連載で取り上げたことがある。10年も経っておりタワーの昭和レトロの残し方のような形で取り上げてはどうか。

・日本地図でタワーがある場所を示してもよい。

○検討の結果、前回宇塚副委員長提案の「公園と建築」を2月号、「タワー」を3月号で特集することとする。その他の提案は今後検討することとした。

5. その他

次回委員会：令和3年10月7日（木）14:00～16:00

■第2回 日事連建築賞選考委員会議事概要

日時 令和3年8月6日（金）14:00～16:15

場所 日事連会議室

出席者 委員長 富永譲

委員 網野禎昭、作山康、塩見英之（代理：牧野弥生）

陶器二三雄、中谷正人、丸川眞太郎

事務局 居谷、前田、三浦、中村

《配付資料》

資料1：令和3年度日事連建築賞現地審査実施記録

資料2：令和3年度第1回日事連建築賞選考結果

資料3：令和3年度日事連建築賞募集要項

資料4：審査講評の作成について

別紙：評価、意見交換メモ

参考：日事連建築賞選考委員会委員名簿・第1回日事連建築賞選考委員会概要

《追加資料》令和3年度日事連建築賞受賞作品一覧

1. 状況および募集要項の確認について

事務局より本年度の現地審査の実施状況（資料1）、第1回委員会の選考結果（資料2）、令和3年度日事連建築賞募集要項（資料3）について説明し、確認した。

2. 各賞の選考について

6月17日から8月6日にかけて行われた現地審査の結果を踏まえて協議・検討を行い、国土交通大臣賞1作品と日事連会長賞1作品を選定した。

更に協議を重ね、優秀賞として一般建築部門から3作品、小規模建築部門から3作品を選定し、奨励賞として一般建築部門から4作品、小規模建築部門から4作品を選定した。

3. 審査講評の作成について

事務局から資料4により、委員長および各委員にプレスリリースおよび会誌「日事連」掲載用の審査講評コメントの執筆依頼がなされた。

■主な行事予定

令和3年

9月	17日	災害対策特別委員会（Web会議）
	22日	法制度対応特別委員会（Web会議）
	24日	総務・財務委員会（Web会議）
	27日	業務・技術委員会（Web会議）
10月	5日	教育・情報委員会（Web会議）
	6日	管理研修会テキスト改訂WG（Web会議）
	7日	会誌編集専門委員会（Web会議）
	8日	景観・まちづくり専門委員会（Web会議）
	12日	四会マンション修繕WG（Web会議）

令和3年8月末 会員・構成員異動報告等

1. 期 間 令和3年8月1日～8月31日
 2. 会 員 在 籍 正会員 46団体 構成員 14,470事務所
 賛助会員 5社

単位会	構成員		建築士事務所登録		賠償責任保険		
	増 減	在籍数(A)	登録数(B)	加入率(A/B)	増 減	加入数(C)	加入率(C/A)
北海道	+ 1	1,007	4,276	23.6 %		284	28.2 %
青 森		165	925	17.8 %		44	26.7 %
岩 手	+ 1	265	957	27.7 %		71	26.8 %
宮 城		346	1,941	17.8 %	+ 1	77	22.3 %
秋 田	+ 1	148	1,039	14.2 %		46	31.1 %
山 形		195	1,122	17.4 %	+ 1	59	30.3 %
福 島		230	1,557	14.8 %		65	28.3 %
茨 城	+ 1	458	1,959	23.4 %		160	34.9 %
栃 木	- 1	164	1,351	12.1 %		78	47.6 %
群 馬		191	1,630	11.7 %		91	47.6 %
埼 玉		459	4,690	9.8 %	+ 2	132	28.8 %
千 葉		353	3,351	10.5 %	+ 1	115	32.6 %
東 京		1,611	15,033	10.7 %	+ 1	602	37.4 %
神奈川	- 1	735	5,972	12.3 %	+ 1	223	30.3 %
新 潟		314	2,235	14.0 %		134	42.7 %
長 野	- 1	401	2,080	19.3 %	+ 1	109	27.2 %
山 梨		109	817	13.3 %		14	12.8 %
富 山		303	1,177	25.7 %		66	21.8 %
石 川	+ 3	315	1,288	24.5 %		63	20.0 %
福 井	- 1	211	934	22.6 %		54	25.6 %
静 岡	- 3	392	3,069	12.8 %		136	34.7 %
愛 知	+ 1	525	5,049	10.4 %	+ 1	134	25.5 %
三 重		188	1,224	15.4 %		65	34.6 %
滋 賀	- 2	185	1,127	16.4 %		41	22.2 %
京 都	+ 3	372	2,176	17.1 %		105	28.2 %
大 阪	- 1	798	6,395	12.5 %		236	29.6 %
兵 庫	- 1	366	3,492	10.5 %	- 1	102	27.9 %
奈 良	+ 1	106	856	12.4 %		26	24.5 %
和歌山		118	743	15.9 %		23	19.5 %
鳥 取		113	479	23.6 %	+ 1	53	46.9 %
島 根		115	646	17.8 %		58	50.4 %
岡 山	- 4	374	1,446	25.9 %		72	19.3 %
広 島		352	2,299	15.3 %		149	42.3 %
山 口		104	1,024	10.2 %		40	38.5 %
徳 島		109	838	13.0 %	+ 1	16	14.7 %
香 川		87	1,056	8.2 %		21	24.1 %
愛 媛	+ 1	184	1,184	15.5 %		50	27.2 %
高 知		139	663	21.0 %		32	23.0 %
福 岡	+ 2	470	3,250	14.5 %	+ 2	170	36.2 %
佐 賀		182	609	29.9 %	+ 1	47	25.8 %
長 崎		234	824	28.4 %		44	18.8 %
熊 本	+ 1	238	1,402	17.0 %		101	42.4 %
大 分		157	882	17.8 %	+ 1	45	28.7 %
宮 崎	+ 1	113	913	12.4 %		45	39.8 %
鹿児島	+ 1	291	1,206	24.1 %		86	29.6 %
沖 縄		178	1,306	13.6 %		66	37.1 %
計	+ 3	14,470	98,492	14.7 %	+ 14	4,450	30.8 %

※建築士事務所登録数(B)は令和2年4月1日時点の数字である。